

平成27年度
消防局予算要求方針

【目次】

- 1 平成27年度消防局予算要求総括表及び経営方針・・・・・・・・1
- 2 重点的に取り組みを行う主なもの・・・・・・・・・・・・・3

1 平成27年度消防局予算要求総括表及び経営方針

(1) 平成27年度消防局予算要求総括表

【一般会計】

平成27年度要求総額 3,110,578千円
 (平成26年度予算額 5,758,962千円)
 前年度比 ▲46.0%

《主な事業》

(単位：千円)

| 事業名 | 平成27年度 予算要求額 (A) | 平成26年度 予算額 (B) | 増減 (A-B) |
|----------------|------------------------|----------------------|-------------|
| 市民防災活動への支援 | 6,596 | 6,596 | 0 |
| 応急手当の普及啓発活動の推進 | 2,336 | 2,084 | 252 |
| 消防団の充実・強化 | 157,429 | 85,819 | 71,610 |
| 緊急通報システム事業の推進 | 54,161 | 51,075 | 3,086 |
| 若松区西部の消防出張所整備 | 51,250 | 0 | 51,250 |
| 救急体制の充実・強化 | 21,981 | 9,112 | 12,869 |
| 八幡東消防署移転新築 | 857,077 | 81,800 | 775,277 |
| 門司消防署建替新築 | 5,461 | 21,800 | △16,339 |
| 八幡西消防署移転新築 | 129,339 | 4,700 | 124,639 |
| 楠橋出張所移転新築 | 11,131 | 0 | 11,131 |
| 消防施設の耐震化 | 58,684 | 31,100 | 27,584 |

《平成26年度終了事業》

| | | | |
|--------------|---|-----------|------------|
| 消防通信指令システム更新 | 0 | 3,218,400 | △3,218,400 |
| 消防艇更新 | 0 | 305,600 | △305,600 |

(2) 平成27年度消防局経営方針

「市民の生命、身体及び財産を災害などから守る」という使命のもと、北九州市基本構想・計画に基づき「健康で安全・安心な暮らしの実現」に取り組んでいくとともに、全国各地で発生した大規模災害の経験と教訓を踏まえた大規模災害対策や、焼死者防止対策など地域と一体となった防災力の充実強化に取り組みます。

さらに、災害需要や社会情勢の変化を見据え、将来に向けた消防体制を検討します。

① 地域の総合的な災害対応力の強化

市場商店街火災への対策を推進するとともに、地域全体の災害対応力を強化するため、地域防災の要である消防団活動の充実強化や地域市民で構成する「市民防災会」等の自主防災組織との連携強化を図ります。

また、災害時等に適切な行動ができるよう、応急手当の普及啓発活動を積極的に推進します。

② 高齢者等災害弱者の安全・安心対策の推進

高齢者等災害弱者が、安心して住み慣れた地域で生活を送ることができるよう、緊急通報システムによる迅速な対応を図るとともに、消防団員による「いきいき安心訪問」を積極的に推進します。

その他、火災による死者を抑制するため、住宅用火災警報器の設置促進をはじめ、災害弱者施設の消火・避難・通報体制の確保に向けた指導・助言など各種防火対策に取り組みます。

③ あらゆる災害に対応できる消防力の強化

救急増加対策に積極的に取り組むとともに、救急救命士の処置拡大に伴う追加講習や救急救命士の増強を行うなど、救急体制の充実強化を図ります。

また、若松区西部地域の消防対策を強化するとともに、効率的かつ効果的な消防体制の構築を推進するため、将来計画を策定します。さらに、特別高度救助隊（ハイパーレスキュー）の東西2隊体制の構築により、あらゆる災害に迅速に対応できる消防力の強化を図ります。

④ 消防施設等の整備

これまで築いてきた豪雨災害等への対応力に加え、東日本大震災や今後発生が懸念される南海トラフ地震のような大規模災害に対応できるよう、新八幡東消防署の開署をはじめ、防災拠点の耐震化などの整備を推進します。

2 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 地域の総合的な災害対応力の強化

- | | | |
|--------|--|---------------------------------|
| Ⅱ-1・継続 | ・市民防災活動への支援 「市民防災会」の育成指導や活動助成を進め、地域ぐるみで開催される消防訓練等を通じて、市民の主体的な自助・共助意識の醸成を図り、災害のない安全・安心なまちづくりを推進します。 | 6,596 千円 |
| Ⅱ-1・継続 | ・木造市場等防火安全対策モデル事業 モデル市場に設置した無線連動型火災警報器と簡易水道消火装置を活用した訓練を継続するとともに、他の市場・商店街へモデル事業の検証結果に基づいた火災予防広報を実施します。 | 1,298 千円 |
| Ⅱ-1・継続 | ・応急手当の普及啓発活動の推進 市民の救命効果の向上を図るため、AEDを含めた応急手当の普及啓発活動を積極的に推進します。 | 2,336 千円 |
| Ⅱ-1・拡充 | ・消防団の充実・強化 老朽化した消防団施設を計画的に整備するとともに、消防団の装備の基準改正に基づく資機材等を整備するなど消防団機能の充実、強化を図ります。 | 157,429 千円 (うち拡充分 71,610 千円) |

(2) 高齢者等災害弱者の安全・安心対策の推進

- | | | |
|--------|---|-----------|
| Ⅱ-2・継続 | ・緊急通報システム事業の推進 ひとり暮らしの高齢者世帯等に火災センサーなどを接続した緊急通報システムを設置することにより、緊急事態を未然に防止し、かつ被害の軽減を図ります。 | 54,161 千円 |
| Ⅱ-2・継続 | ・いきいき安心訪問の推進 介護職員初任者研修の資格を取得した女性消防団員が、ひとり暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災指導や簡単な在宅支援サービスを行うとともに、福祉に関する相談を関係機関につなぐなど、安心感の向上を図ります。 | 8,428 千円 |
| Ⅱ-1・継続 | ・住宅防火対策の推進 住宅火災による死者を抑制するため、すべての住宅に設置が義務付けられた住宅用火災警報器の設置促進を図るなど、住宅防火に係る啓発活動を積極的に推進します。 | 1,716 千円 |

(3) あらゆる災害に対応できる消防力の強化

- | | | |
|--------|--|--------------------------------|
| Ⅱ-1・継続 | ・大規模災害対策用資機材の充実・強化 東日本大震災を教訓に、大規模災害に必要な不可欠な消防活動用資機材を整備し、緊急消防援助隊の活動能力を向上するとともに、消防体制の強化を図ります。 | 13,294 千円 |
| Ⅱ-1・新規 | ・若松区西部の消防出張所整備 近年発展が著しく、市街地の拡大や人口の増加により、火災・救急などの消防需要が増加している若松区西部の消防体制を強化するため、学術研究都市整備区域内に消防出張所を整備し、あわせて、若松区内の消防出張所の適正配置を検討します。 | 51,250 千円 |
| Ⅱ-1・拡充 | ・救急体制の充実・強化 救急救命士の処置が拡大されたことに伴い、追加講習を受講させるとともに、救急体制の充実強化のため救急救命士の資格取得養成を計画的に増強し、安全確実な救命処置に取り組みます。 また、救急隊員の教育体制の充実を図るため、現行の常設型に加え、市内医療機関と連携した派遣型の救急ワークステーションを導入します。 | 21,981 千円 (うち拡充分 12,869 千円) |
| Ⅱ-1・新規 | ・第 5 回緊急消防援助隊全国合同訓練 大規模災害に備え 5 年に 1 度実施される緊急消防援助隊全国合同訓練(千葉県市原市開催)に参加し、緊急消防援助隊の活動能力及び関係機関相互の連携能力向上を図ります。 | 3,112 千円 |

(4) 消防施設等の整備

- | | | |
|--------|---|------------|
| Ⅱ-1・継続 | ・八幡東消防署移転新築 八幡東区の消防力の強化を図るため、老朽・狭隘化した八幡東消防署の移転新築を行います。 | 857,077 千円 |
| Ⅱ-1・継続 | ・門司消防署建替新築 門司区の消防力の強化を図るため、老朽・狭隘化した門司消防署の建替新築を行います。 | 5,461 千円 |
| Ⅱ-1・継続 | ・八幡西消防署移転新築 八幡西区の消防力の強化を図るため、老朽・狭隘化した八幡西消防署の移転新築を行います。 | 129,339 千円 |

Ⅱ-1・新規

・楠橋出張所移転新築 11,131 千円
八幡西区の消防力の強化を図るため、老朽化した楠橋出張所の移転新築を行います。

Ⅱ-1・拡充

・消防施設の耐震化 58,684 千円
(うち拡充分 27,584 千円)
災害発生時において防災拠点となる消防施設の耐震化を促進するため、耐震診断や耐震補強計画、耐震工事を計画的に実施します。